

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市高砂老人福祉センター
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
3 指定期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 18,496人(前年度比 74.3%) 令和5年度 24,908人 令和4年度 22,621人 《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 - 指定管理者に支払った費用 33,629千円(37,870千円) - その他市が負担した費用 13,121千円(860千円) 《収入》 - 使用料収入 0千円(0千円) - その他収入 0千円(0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 利用者向けに意見箱の設置や苦情解決相談窓口の設置など、利用者の提案内容や要望等に耳を傾けながら事業運営を行っている。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築等の取り組みを行っている。	25/25
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、利用者アンケート、管理運営委員会における意見交換等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
高砂老人福祉センターでは令和6年度も、高齢者に対して各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上、レクリエーションの場を提供した。 令和6年度は、大規模改修工事に伴う休館や仮事務所への移転を控えた中での運営となったが、休館中も利用者への丁寧な説明を行いながら、各種事業を展開し、地域の交流拠点づくりに取り組んだ。地域住民の交流と生きがいづくりに資するため、終活や健康をテーマにしたミニカフェを開催。介護予防事業では、フレイル予防の「健康講話」や「ヨガ講座」を実施し、運動習慣の定着を図った。ボランティア育成事業では、「ふれあい高砂」の協力のもと、受付・誘導・コーヒー提供等を行い、「パワーリハビリボランティア養成講座」も開催。中庭整備や草取りなど、利用者による自主的活動も見られた。認知症への理解促進では、併設の高砂地域包括支援センターと連携し、認知症講座を開催。安心安全な施設利用の提供にも努め、仮事務所での活動スペース確保により愛好会等の活動支援を継続した。 さらに、宮城野区家庭健康課や高砂児童館と協議を行い、令和7年度の連携事業「高砂すくすく育児相談」「高砂赤ちゃん広場」「高砂わいわい広場」の開催につなげた。 令和7年1月の仮事務所移転後も、スペースを活用し「趣味の教室」や「愛好会」の活動支援、情報提供を行ったほか、「高砂ふれあいカフェ」の開催や交流コーナーの開放を通じて、地域住民とのつながりを保ち、健康と生きがいづくりの場を提供した。センター再開後の高砂デイサービスセンター跡地の活用に向けては、地域委員会の各委員へ個別に聞き取り調査を行い、地域ニーズの把握と活用コンセプトの整理を進めた。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
令和6年度の施設運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。 令和6年度は、大規模改修工事による休館や仮事務所への移転等制約が多い中での運営であったが、終活等をテーマにしたミニカフェの開催や介護予防事業、ボランティア育成事業、認知症理解促進等多彩な企画を実施している。特に併設する地域包括支援センターや児童館と連携した講座等の取り組みにも力を入れている。 また令和7年1月以降は大規模改修工事に伴う休館のため、仮事務所での運営となっている。その中で限られたスペースを活用しながら、利用者の活動支援を丁寧に行っている点に加え、利用者が誰でも気軽に参加できる「高砂ふれあいカフェ」を新たに開催するなど、従来の地域住民や利用者のつながりを保つ取り組みを実施している。 その他センター再開後新たに整備されるスペースの活用方法についても、地域委員会への聞き取り調査を通じ、地域ニーズの把握に努めている。 以上の内容から、高砂老人福祉センターの令和6年度の運営は、総合的に高く評価できる。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課